

## ■ 質問

RC梁曲げ耐力に考慮するスラブ筋の、入力方法を教えてください。

## ■ 回答 ・スラブ筋の設定方法を次に示します。

- (a) 「部材リスト・床版」に鉄筋を入力し、平面配置することにより、1m幅の鉄筋断面積を自動計算します。
  - (b) 「個別計算条件」において、スラブ筋断面積と材種を入力し、指定配置します。
  - (c) 保有計算段階でもスラブ筋断面積と材種を入力し、指定配置することが可能です。
- ・計算段階において、スラブ筋設定方法 [(a)～(c)]に対する、計算考慮優先順位があります。
- 許容応力度計算では (b) > (a) の順で優先します。[\* Qd計算に使用します]
- 保有水平耐力計算では (c) > (a) > (b) の順で優先します。

[\* 曲げ耐力計算に使用します]

※ 断面検定における、許容曲げモーメント計算では、スラブ筋を考慮しません。

## ・[スラブ筋設定方法(b)の入力方法]

メインメニュー・計算条件 → ツリーメニュー・個別計算条件・RC・SRC梁 → 上から3段目「梁Myに考慮するスラブ筋断面積」入力 → 上から4段目「スラブ筋材種」入力  
配置は下記のように、なります。

- ① スラブ筋断面積が一種類の場合は上記の手順でOKです。
- ② スラブ筋断面積が複数ある場合は、スラブ筋断面積を入力した画面の左上にあるGR:(追加及び修正したい計算条件番号)に2から順に計算条件番号を定義していきます。
- ③ 2からの計算条件番号を次の方法で配置します。  
平面入力・Zn クリック → 断面計算データ → 梁符号右クリック → RC/SRC梁計算条件 → 最上段の「梁計算条件番号」入力 → OK ボタン → 梁符号がGR:nに変わります。

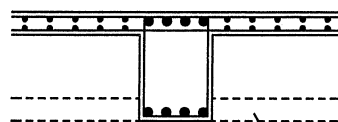
## ・[スラブ筋設定方法(c)の入力方法]

メインメニュー・計算条件 → ツリーメニュー・共通計算条件 → 部材耐力式 → 上から6段目の「RC・WRC梁曲げ耐力へのスラブ筋の考慮」で、考慮(考慮しない)を選択します。

「平面入力」・Zn クリック → 保有耐力計算用データ → 平面図表示・梁符号右クリック → 梁スラブ筋 → 「梁スラブ筋断面積」ダイアログ表示 → 梁スラブ筋断面積・材種入力 → OK ボタン

※ スラブが下端に付いている場合は、下端筋に考慮されます。(下図参照)

(参考図)



(下端筋に考慮されます。)